

熱性けいれん

<どんな症状>

熱の上がり際にけいれんがおき、大部分は5分以内で治まります。治まったあとはケロッとするか、眠ってしまいます。かぜや肺炎、突発性発疹などで高い熱を出したときにおこしやすく、1~4歳位の子どもの約10%がおこすともいわれていますが、たいてい小学校にあがる位には自然に起こらなくなります。

<手当て>

まずは、衣服を緩めて、風通しのよい静かな部屋に寝かせ、吐いたものがのどにつまらないように顔を横向きにします。医師に連絡して指示を仰ぎましょう。しかし、①はじめてのけいれんの時②けいれん時間が5分を超える③日に何度もひきつけを繰り返す④ひきつけが治まっても意識が戻らない、というような症状があったら、すぐに病院へ行きましょう。